

小児看護方法論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 最上 玲子 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

健康障害をもつ子どもとその家族に対して必要な看護援助の内容や方法、適切な看護を行うための基礎的知識を学ぶ。主な内容としては、健康障害が子どもと家族へ及ぼす影響、急性期・慢性期・周手術期・終末期にある小児の看護、行動制限に伴う小児の看護および事故防止と感染予防等についての知識と看護援助の方法について学修する。さらに、健康障害を抱えながら生活している子どものQOLを向上させ、苦痛を緩和する看護についても併せて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

病気や障がい、心身の苦痛など健康問題をもつ子どもとその家族に対する看護方法を理解するとともに、看護師の役割について理解することができる。さらに、健康問題に伴う治療や援助が必要な子どもとその家族に対する看護について発展的に考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6

・到達目標（SBO）

1. 病気を抱えながら生活している子どもとその家族の問題を理解し、併せて必要な看護援助を理解できる。
2. 健康問題および治療が子どもとその家族に及ぼす影響について理解できる。
3. 子どもの成長・発達を考慮した援助を行うための基礎的な知識を身につけることができる。

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/20 (火) 3限	成育看護学講座 高橋 亮 教授	健康問題が子どもと家族へ及ぼす影響 ・病気や治療、入院に対する子どもの認知、反応を述べるができる ・健康問題をもつ子どもとその家族に関わる看護師の基本的姿勢について述べるができる 【事前学修】 子どもが入院する際に直面する問題を挙げておく (60分) 【事後学修】 病気の子どもと接する看護師に求められる役割をまとめておく(60分)
9/22 (金) 4限	成育看護学講座 高橋 亮 教授	急性期にある小児の看護① ・急性期の子どもと家族の特徴を述べるができる 【事前学修】 急性期に該当すると思われる疾患について調べておく (60分) 【事後学修】 急性期にある新生児・乳児期の特徴をまとめておく (60分)
9/26 (火) 3限	成育看護学講座 高橋 亮 教授	急性期にある小児の看護② ・急性期の子どもと家族に必要な看護を述べるができる 【事前学修】 急性期の症状を復習しておく (60分) 【事後学修】 急性期にある幼児・学童の特徴をまとめておく (60分)
10/3 (火) 3限	成育看護学講座 高橋 亮 教授	慢性期にある小児の看護① ・慢性期の子どもと家族の特徴を述べるができる 【事前学修】 慢性期に該当すると思われる疾患について調べておく (60分) 【事後学修】 慢性期にある新生児・乳児期の特徴をまとめておく (60分)
10/5 (木) 3限	成育看護学講座 高橋 亮 教授	慢性期にある小児の看護② ・慢性期の子どもと家族に必要な看護を述べるができる 【事前学修】 慢性期の症状を復習しておく (60分) 【事後学修】 慢性期にある幼児・学童・思春期の特徴をまとめておく (60分)

<p>10/11 (水) 4限</p>	<p>成育看護学講座 伊東 佐由美 講師</p>	<p>ハイリスク新生児・集中ケアが必要な子どもの看護 ・小児クリティカルケア看護について理解を深めることができる ・ハイリスク新生児の特徴を述べるができる ・ハイリスク新生児のケアの方法を挙げるができる</p> <p>【事前学修】 ハイリスク新生児について考えてみる (60分) 【事後学修】 重症の子どもに接する看護師に求められる役割を考えてみる(60分)</p>
<p>10/16 (月) 3限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>入院児の QOL 向上と苦痛を緩和する看護 ・入院児への遊びの必要性と効果について述べるができる</p> <p>【事前学修】 現代の小児病棟における倫理的問題について考えておく (60分) 【事後学修】 入院児の QOL 向上に必要なケアをまとめておく (60分)</p>
<p>10/25 (水) 4限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>小児の療養生活における安全 ・子どもの療養環境に潜む危険について述べるができる ・子どもの療養環境に生じやすい事故について述べるができる ・子どもの安全を守るために必要な看護について理解できる</p> <p>【事前学修】 子どもの視界について、チャイルドビジョンを用いて体験しておく (60分) 【事後学修】 子どもの事故を予防するポイントをまとめておく (60分)</p>
<p>11/8 (水) 4限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>手術を受ける小児の看護① ・手術が子どもと家族に及ぼす影響と反応について理解することができる</p> <p>【事前学修】 子どもが手術を受ける際に予測される問題を考える (60分) 【事後学修】 手術を受ける子どもの問題をまとめておく (60分)</p>
<p>11/15 (水) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>手術を受ける小児の看護② ・周手術期における子どもと家族に対する看護について理解できる</p> <p>【事前学修】 手術が子どもと家族に及ぼす影響と反応をまとめておく (60分) 【事後学修】 手術を受ける子どもと家族への看護をまとめておく (60分)</p>

<p>11/20 (月) 4限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>終末期にある小児の看護 ・子どもの死の概念発達について理解することができる ・終末期にある子どもと家族に必要な看護について述べるすることができる</p> <p>【事前学修】 子どもとその家族の死生観について調べておく(60分) 【事後学修】 終末期にある子どもと家族への看護をまとめておく(60分)</p>
<p>11/27 (月) 4限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>痛みのある小児の看護 ・子どもの痛みの特徴について理解することができる ・痛みのある子どもと家族に対する看護について理解することができる</p> <p>【事前学修】 痛みがもたらす生体反応について調べておく(60分) 【事後学修】 痛みのある子どもと家族への看護をまとめておく(60分)</p>
<p>12/1 (金) 4限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>先天性疾患を持つ子どもの看護 ・先天異常の種類と特徴について述べるすることができる ・先天性の疾患を持つ子どもと家族の特徴について述べるすることができる ・子どもの成長発達に応じた支援について考えることができる ・家族に対する養育と技術獲得に向けた援助について述べるすることができる</p> <p>【事前学修】 子どもの先天性疾患について調べておく(60分) 【事後学修】 障がいを抱えて生きる子どもと家族への看護をまとめておく(60分)</p>
<p>12/6 (水) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>心身障がいのある小児の看護 ・障がいをもつ子どもと家族の特徴について理解し、必要なケアを理解できる</p> <p>【事前学修】 子どもの発達障がいについて調べておく(60分) 【事後学修】 障がいを抱えて生きる子どもと家族への看護をまとめておく(60分)</p>
<p>12/12 (火) 3限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>小児感染症とその予防 ・小児感染症の概要について理解できる ・子どもの予防接種について理解できる ・感染対策上隔離が必要な子どもの看護について述べるすることができる</p> <p>【事前学修】 免疫と予防接種の意味について復習しておく(60分) 【事後学修】 予防接種の副作用と接種時期についてまとめておく(60分)</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]小児看護学概論小児看護学総論第 14 版	奈良間美穂 他著	医学書院	2020
教	系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児臨床看護各論第 14 版	奈良間美穂 他著	医学書院	2020

・成績評価方法

定期試験 90%、レポート 10%により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと。全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・授業中に課す課題等については、WebClass で解説する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 小児看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影